

施策番号	1802		
施策名	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進		
概要	子どもたちの自尊感情や規範意識を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、子どもたちが社会で自立して生き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる教育活動を通して取り組む。		
担当局・部室	教育委員会・指導部	共管局・部室	
上位政策	18 学校教育		
施策に関係する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート評価値(%)	-	b	71.7	76.6	100	76.6%	b	1.00
2	非行防止教室の実施率(%)	b	a	66.9	100.0	55.0	181.8%	a	1.00
3	新体力テストの結果(項目数)	b	b	29	28	31	90.3%	b	1.00
4	通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数(人)	a	a	356	414	374	110.7%	a	1.00
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言う と思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1	子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	41	190	164	36	14	445	b	
		9.2%	42.7%	36.9%	8.1%	3.1%			
2	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	37	139	193	51	18	438	c	
		8.4%	31.7%	44.1%	11.6%	4.1%			
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						b	



- そう思う
- どちらかと言うそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						24年度	A
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 本施策の対象が京都市立学校に在籍する幼児・児童・生徒に限定されており、多くの市民にはその効果が実感されにくいものであるため、客観指標を重視する。								
(原因分析) ・子どものニーズにあった教育を行うため、LD等の発達障害のある児童生徒が通級による専門的な指導を受けられるよう、就学支援シートなどの取組を充実させた結果、達成度が上がり、客観指標がa評価となった。 ・また、子どもたちに規範意識を育むため、非行防止教室に積極的に取り組み、全小学校・中学校・高等学校で実施した結果、達成度が100%を超え、a評価となった。							23年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	私立幼稚園保護者助成	1,331,426	1,352,216	良い	教育委員会
2	小・中学生就学援助費	1,498,064	1,495,397	—	教育委員会
3	国際理解教育・英語教育の推進	193,859	273,172	良い	教育委員会
4	体験活動及び文化活動の推進	20,664	22,990	良い	教育委員会
5	特色ある高校づくり推進事業	146,580	195,839	良い	教育委員会
6	学力向上対策	459,385	605,443	良い	教育委員会
7	安全教育の推進	31,376	30,954	良い	教育委員会
8	体力向上推進	49,534	47,444	普通	教育委員会
9	中学・高校競技力向上	58,897	54,358	普通	教育委員会
10	学校給食の充実	3,050,735	3,037,982	良い	教育委員会
11	健康増進・健全育成の推進	545,769	549,335	かなり良い	教育委員会
12	総合育成支援教育の充実	513,674	544,364	かなり良い	教育委員会
13	スクールカウンセラー等の配置	198,853	224,708	良い	教育委員会
14	不登校対策	22,482	22,959	良い	教育委員会
15	京都市青少年科学センター	419,443	405,749	良い	教育委員会
16	京都市野外教育センター奥志摩みさきの家	71,304	69,620	良い	教育委員会
17	京都市教育相談総合センター（こども相談センター パトナ）	118,959	116,801	普通	教育委員会
18	京都市野外活動施設花背山の家	272,354	273,152	普通	教育委員会
19	京都まなびの街生き方探究館	161,144	151,500	良い	教育委員会
20	学校図書館運営支援員配置事業	26,185	55,344	—	教育委員会

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・全国学力・学習状況調査等の分析システムの試行をするなど、「京都市学習支援プログラム」をはじめとする自学自習の習慣化や学力の定着・向上を目指す「京まなびプロジェクト」を推進することで、児童・生徒一人一人の学習状況や課題を把握し、小中学校で連携を図りながら確かな学力の向上を目指していく。

・「京都市子どもの規範意識を育むプロジェクトチーム」における具体的取組の検討・立案や、全小学校・中学校・高等学校で実施している非行防止教室の実施学年の拡大に向けた京都府警察本部との連携、各校に対する積極的な実施の呼び掛けにより、保護者・市民団体・学校及び行政機関が連携し、子どもの規範意識を育むための取組を推進する。

・今後、就学支援シートの活用や、LD等通級指導教室の設置拡大等により、通級による専門的な指導を受けることのできる児童生徒数を増加させる。

・子どもたちの体力が長期的に低下しているとともに、運動する子としない子の体力差が生まれている。このような課題を克服するため、運動部活動等をはじめとする学校での体育的な活動の充実に取り組み、子どもたちの体力向上を図る。

・平成24年度に作成した「京都市防災教育スタンダード」を活用しながら、各学校・幼稚園の防災マニュアルの更なる見直しを行うとともに、危機に際して自らの命を守る「主体的に行動する態度」を育成するための防災教育を推進する。

施策名	1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進				
-----	------	----------------------	--	--	--	--

指標名	学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート評価値（％）					
-----	--	--	--	--	--	--

担当課	学校指導課		連絡先	2 2 2－3 8 0 1		
-----	-------	--	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

京都市学習支援プログラム（小学校：ジョイントプログラム，中学校：学習確認プログラム）の内容について児童生徒を対象に行うアンケート調査の評価値

2 指標の意味

生きる力の一つである確かな学力を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市学習支援プログラムについての児童生徒に対するアンケート
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	71.7	76.6	4.9ポイント増	100	全ての児童生徒がアンケートで概ね満足であると評価する内容を目指す。	76.6%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標はあくまで全ての児童生徒が満足と感じること（100％）であるが，80％を達成すれば概ね達成したと評価することができると考えたため，80％以上を a，以下20％刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
-	b	b

1 指標の説明

各年度に非行防止教室を実施した学校の全市立小・中・高等学校に占める割合

2 指標の意味

生きる力の一つである規範意識を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：「非行防止教室実施校数」÷「京都市立小・中・高等学校数（休校除く）」
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	66.9	100.0	33.1ポイント増	55.0	平成27年度までに全市立小・中・高等学校で実施するために，当該年度に達成すべき割合	181.8%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		100%	27年度	100.0%	全市立小・中・高等学校での実施	

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

100%を a，以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
b	a	a

施策名	1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進				
-----	------	----------------------	--	--	--	--

指標名	新体力テストの結果（項目数）					
-----	----------------	--	--	--	--	--

担当課	体育健康教育室		連絡先	708-5322		
-----	---------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

毎年本市において小学2年生・5年生及び中学2年生に対して実施する体力・運動能力調査の結果が過去10年間の平均値を上回る項目数

2 指標の意味

生きる力の一つである健やかな体を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市立学校児童・生徒 新体力テスト結果報告書

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	29	28	1項目減	31	48項目の7割の項目数	90.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考
小2、小5、中2の男女、体力調査8項目
3学年×2（性別）×8項目＝48項目

5 評価基準

48項目中、過去10年間の平均値と比べ、向上した項目数が
a：31～48項目
b：21～30項目
c：11～20項目
d：1～10項目
e：0項目

6 基準説明

過去10年間の平均値と最新数値を比べ、
①体力・能力数値に際限があること
②テストを受ける対象・人数が毎年変わることの理由により、全体の項目数の約7割以上の項目数を上回ればa、1項目も上回らなかった場合をeとし、その間のbcdを10項目ずつで按分した。

7 評価結果

23	24	25
b	b	b

1 指標の説明

LD等通級指導教室の設置拡大等により、通級による専門的な指導を受けることのできるLD等の発達障害のある児童生徒数
※LD等の発達障害…学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症（アスペルガー症候群含む）を指す。

2 指標の意味

発達障害のある児童生徒に生きる力を育む教育の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	356	414	58人増	374	平成32年度の目標値達成のため、当該年度に達成すべき数値	110.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		500	32年度	82.8%	22年度設置校数及び指導人数から、ことばときこえの教室の併用化、LD等非常勤講師の活用及び国からの教員定数加配等の予定を勘案して算出

備考

5 評価基準

目標値に対する達成度が
a：70%以上
b：50%以上～70%未満
c：30%以上～50%未満
d：10%以上～30%未満
e：10%未満

6 基準説明

国からの通級指導に対する教員定数加配に大きく左右されるため、70%以上でa、以下20%刻みで設定。

7 評価結果

23	24	25
a	a	a